資料 7

第5回大規模が 害対策に関する 専 門 調 査 会

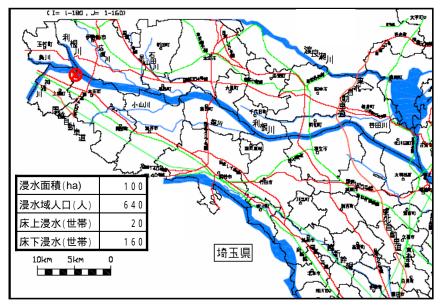
利根川浸水想定の類型区分(案)

本庄·深谷沿川氾濫: 右岸178.0~184.0km

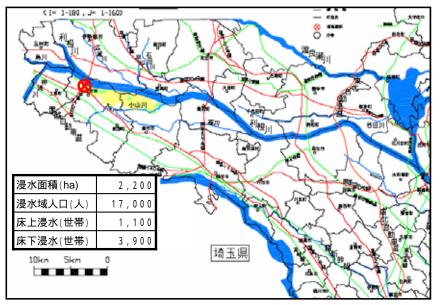
右岸182.5K:本庄市(浸水域人口·浸水面積最大)

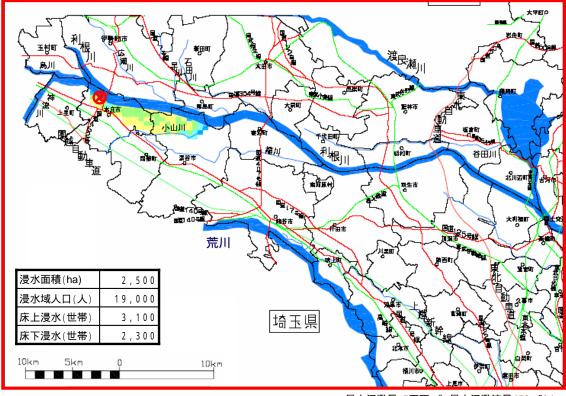
- 小山川合流点(深谷市)より上流の区間。
- •河川周辺の地盤高が高〈、氾濫量が少ない。

右岸184.0K



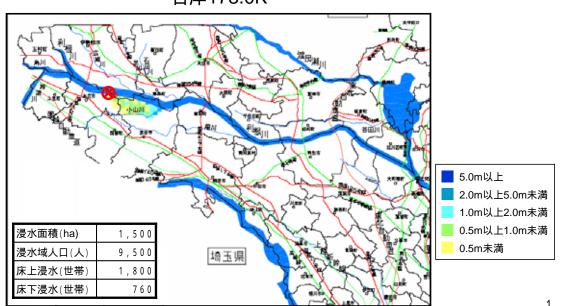
右岸182.0K





最大氾濫量:5百万m3、最大氾濫流量450m3/s)

右岸178.0K

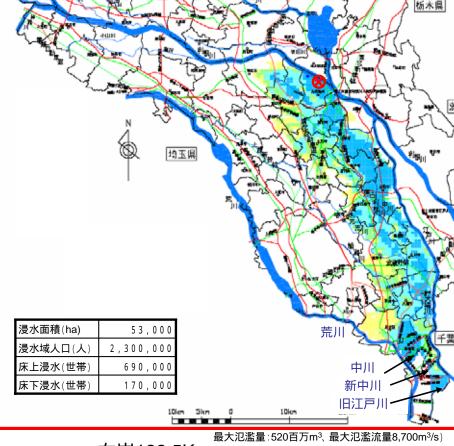


首都圏広域氾濫: 右岸122.5~172.5km

- 江戸川分派点から小山川合流点付近(深谷市)の区間。
- 明治43年洪水(約170K)、昭和22年カスリーン台風洪水時(約135K) に利根川本川堤防が決壊。



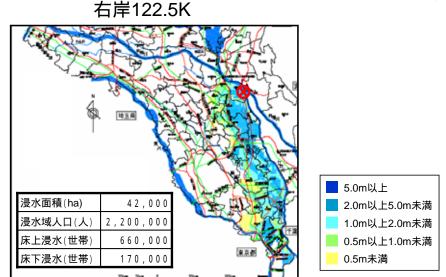




右岸136.0K: 大利根町(浸水域人口最大、決壊実績有り)

右岸148.5K
浸水面積(ha) 47,000
浸水域人口(人) 1,400,000
床上浸水(世帯) 350,000
床下浸水(世帯) 160,000

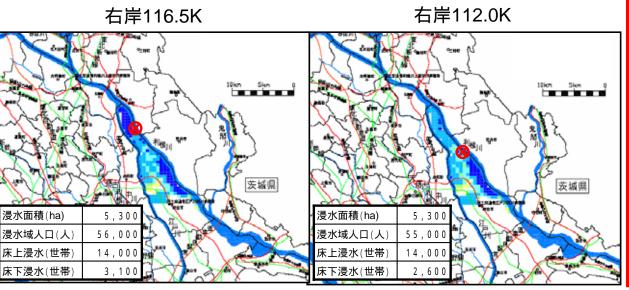




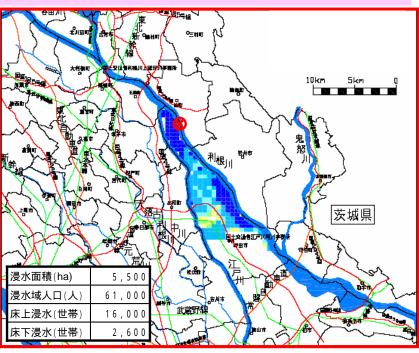
注:中条堤や支川の決壊を考慮していないため、利根川右岸172.5kmの浸水域は都区部まで達していないが、明治43年洪水では、中条堤が決壊し下流域に大規模な洪水はん濫が生じた。 既往の洪水氾濫状況を踏まえ、168.5km~172.5kmの区間は首都圏広域型氾濫に分類した。氾濫域の拡大に影響を及ぼす堤防等の盛土の取扱いには、さらなる検討を行う予定。

野田貯留型氾濫:右岸96.5~118.5km

- 渡良瀬川合流点から鬼怒川合流点付近の区間。
- 下総台地と堤防に囲まれ、浸水域が拡がらない。
- はん濫水が貯留されるため、5m以上浸水する場合がある。



右岸118.5K:野田市(浸水域人口·浸水面積最大)

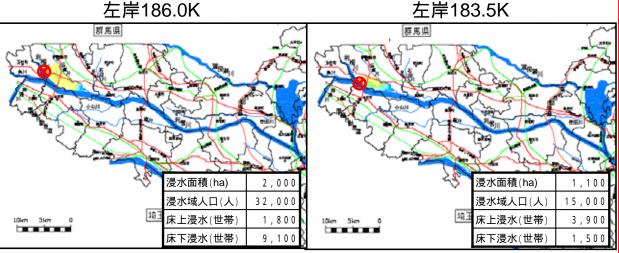


最大氾濫量:200百万m3、最大氾濫流量3,100m3/s)

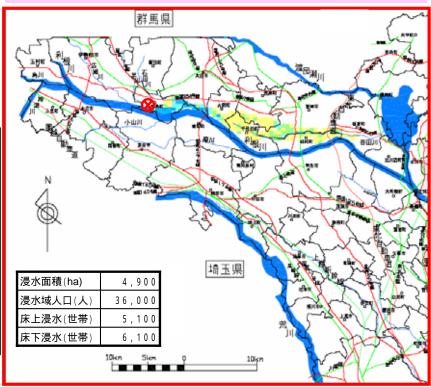
右岸101.0K 右岸96.5K 右岸106.0K 茨城県 茨城県 茨城県 5.0m以上 2.0m以上5.0m未満 浸水面積(ha) 390 1.0m以上2.0m未満 浸水面積(ha) 浸水面積(ha) 5,000 浸水域人口(人) 4.100 0.5m以上1.0m未満 50.00 浸水域人口(人) 2.400 790 床上浸水(世帯) 0.5m未満 床上浸水(世帯) 床上浸水(世帯) 430 3 4 0 床下浸水(世帯) 床下浸水(世帯) 1,300 170 床下浸水(世帯)

伊勢崎·太田沿川氾濫:左岸167.0~186.0km

- 石田川合流点付近より上流の区間。
- 河川周辺の地盤高が高く、はん濫量が少ない。



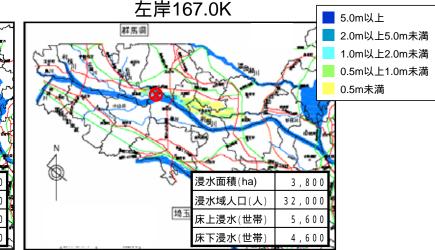
左岸172.5K:太田市(浸水域人口·浸水面積最大)



最大氾濫量:22百万m³、最大氾濫流量1,200m³/s)

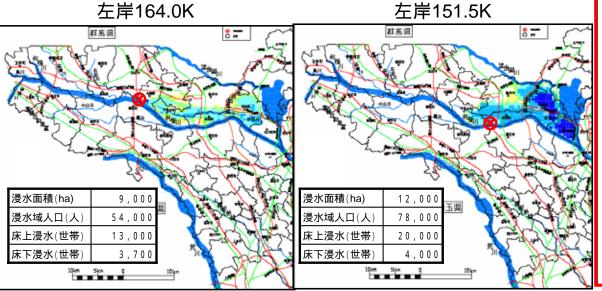




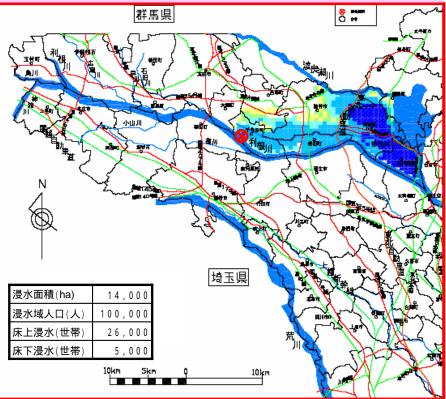


渡良瀬貯留型氾濫:左岸139.0~164.0km

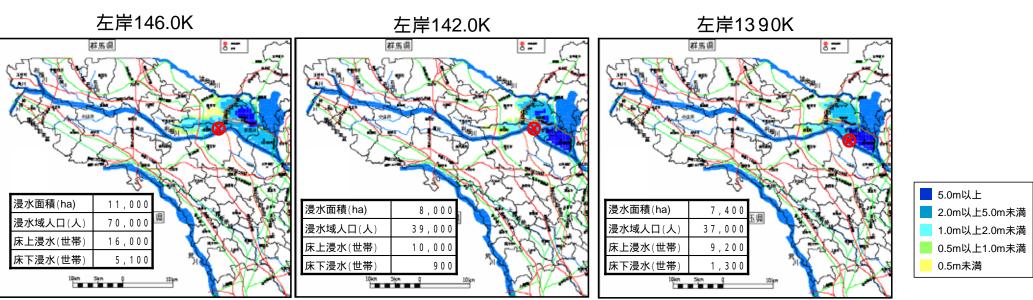
- 渡良瀬川合流点から、石田川合流点付近までの区間。
- 渡良瀬川、利根川に挟まれる地域の標高が周辺より低い。
- はん濫水が貯留されるため、3階まで浸水する場合がある。



左岸159.5K:千代田町(浸水域人口·面積最大)



最大氾濫量:400百万m3、最大氾濫流量8.600m3/s)



古河·坂東沿川氾濫: 左岸96.0~132.0km

- •渡良瀬川合流点より鬼怒川合流点付近の区間。
- •利根川の左岸側には猿島台地があり、低地は利根川沿いに限られる。
- ●どこが決壊しても、5m以上浸水する地域が生じる。

